

京都精華大学教育後援会 2025 年度第 3 回役員会 議事録

開催日時：2025 年 11 月 1 日（土）11 時 00 分～11 時 30 分

開催場所：本館 4 階 H-417・オンライン

役員出席者：

（会長）兒玉 修一、（副会長）椋本 千鶴子、（監事）松本 高志、（会計）小林 江美子、
（以下、学部幹事）佐々木 潤子、小野 佳代、高橋 安以子※、甲谷 優枝※、張 曉華、内屋敷 敦
※オンライン参加

役員欠席者：

（監事）篠崎 聡、（学部幹事）小栗 幹大、高木 隆次、迫田 真紀子

本学出席者：

（学長・教育後援会顧問）澤田 昌人、（副学長）森原 規行、（教務部長）吉岡 恵美子、
（学生部長）田村 有香、（教学グループ長）下田 啓真、（学生グループ長）山元 英昌、
（経営企画グループ長）飯澤 ちあき、（経営企画グループ）加藤 由佳

本学欠席者：

（副学長）三河かおり

記録：

（経営企画グループ）若林 麻由佳

報告事項

1. 2025 年度教育懇談会開催報告

事務局から、資料に基づき、7 月 5 日および 10 月 18 日に教育懇談会を開催した、と報告があった。

2. 2025 年度寄付事業について

事務局から、資料に基づき、2025 年度寄付事業に関する進捗報告があった。また、最終的な実績報告については、事業の実施後に行う旨が補足された。

役員から、学生応援ランチについて、提供しているランチの内容を充実していただきたい、と意見があった。

澤田学長から、学生応援ランチについて、物価高の影響から、現状の原価（450 円）だけでは充実させることが難しいため、寄付金の増額や学生の負担額の引き上げなどの検討が必要ではないか、と意見があった。

事務局から、学生応援ランチの内容を充実させることができるよう検討する、と回答があった。

役員から、キャリア支援に関する学生向けの相談枠について、留学生向けの相談枠には空きがある

一方で、国内学生向けの枠は空きがなく、国内学生が相談を利用できない状況が生じているようである。これについて、運用をより柔軟に対応してほしい、と意見があった。

議事事項

1. 2026 年度総会及び教育懇談会の開催方針について

事務局から、資料に基づき、提案があった。審議の結果、以下のとおり承認された。

総会：会員へ事前に資料を送付し、オンラインで議案に対する賛否および意見を募る。

教育懇談会：オンラインで2回実施する。

2. 2026 年度寄付事業案について

事務局から、資料に基づき、提案があった。審議の結果、以下のとおり承認された。

2026 年度寄付事業案：①奨学金の充実、②キャリア支援活動への賛助、③学内環境の整備支援、
④食環境の充実、⑤入学記念品

上記の寄付事業案および新規寄付事業案に関する会員からのアンケート結果をふまえ、第4回役員会にて、予算額と合わせた寄付事業案を取りまとめる旨が補足された。

役員から、学内に学生が休憩するためのスペースやベンチ等を拡充していただきたい、と意見があった。

役員から、学内の通信ネットワークを増強することについて検討していただきたい、と意見があった。

澤田学長から、通信ネットワークについては、段階的に改善を行っているが、今後はより速やかに計画を進めることを検討する、との回答があった。

役員から、寄付事業を検討するにあたり、過去の学内施設の改修実績や、現在整備が必要である箇所のリスト等、検討材料があることが望ましい。また、近年、社会問題化している猛暑や対策として、施設面での支援ができればよいのではないかと意見があった。

山元学生グループ長から、熱中症対策として、学生への熱中症の危険性や予防策に関する周知を行っているほか、公認学生団体を中心に熱中症対策に関する講習会を実施している。また、安全にクラブ活動を実施するため、空調設備の改善について施設管理チームへ要望を提出している、と説明があった。

事務局から、過年度の施設設備に関する賛助事業の一覧を後日役員へ送付する、と説明があった。

役員から、入学記念品について、学生のデザインを使用することを検討していただきたい、また、寮の拡充を検討していただきたい、と意見があった。

全議事の終了が宣告された。

以上